

別紙2:非機能要件一覧

番号	区分	機能	No	機能要件	備考
1	性能・拡張性	業務拡張	1	契約時点での機器の利用予定台数（パソコン：77台、プリンター：5台）でシステムの安定性・快適性が保たれること。また一定数の利用増加があった場合も同様の利用環境が担保されること。	増加の上限をパソコン：100台、プリンタ10台と想定
1	性能・拡張性	業務拡張	2	利用アカウント数の増減に対応できること。	ライセンス数上限：100ライセンス
1	性能・拡張性	性能	3	現行からの利用拠点増加に対応できること。	現時点で拠点増加予定なし
1	性能・拡張性	性能	4	基準以上のレスポンスを保てること。 ・画面遷移：通常3秒、繁忙期5秒以内 ・検索結果の表示（該当数100件）：通常3秒、繁忙期5秒以内 ・データの登録：通常3秒、繁忙期5秒以内 ・帳票出力、印刷（pdf表示）：通常5秒、繁忙期7秒以内	
1	性能・拡張性	性能	5	最大同時アクセス時、応答性が低下しないこと。	契約アカウント数を想定
1	性能・拡張性	性能	6	データ量の増加に対応できること。	契約期間終了まで
2	運用・保守性	運用	7	オンラインサービスの稼働時間は24時間365日とすること。	
2	運用・保守性	運用	8	バックアップは1回/日で自動で行われること。	
2	運用・保守性	運用	9	業務停止を伴う障害が発生した場合、日次バックアップより復旧できること。	復旧目途：翌営業日内
2	運用・保守性	運用	10	緊急時対応計画・対応マニュアルを作成し、速やかに障害復旧ができる体制を構築すること。	
2	運用・保守性	運用	11	システム管理者からの電話、電子メールによるシステム利用に関する問合せに対応すること。（システム管理者が必要と判断した場合、現地対応を行うこと。）	
2	運用・保守性	運用	12	業務系システム基盤、ネットワーク等のメンテナンス時、必要に応じて、本システムの停止や他のシステムとの連携停止および復旧の対応を行うこと。	現地対応含む
2	運用・保守性	運用	13	利用者マニュアルを作成し、変更があった場合は、見直しを行うことで、常に最新の状態を保つこと。	変更・修正があった場合の見直しを想定。（システムのマニュアル）操作の問い合わせ内容を反映すること。
2	運用・保守性	保守	14	Windows Updateによる更新対象となるパッチ及び必要なソフトウェアのパッチの適用作業を適宜行うこと。	
2	運用・保守性	保守	15	第3期業務系システム基盤からの移行に対応すること。（R11年度に第3期から第4期へ移行を予定。）	
2	運用・保守性	保守	16	情報セキュリティに関連する調査・監査等に対応すること。	
2	運用・保守性	保守	17	不具合に関して随時対応し、対応方法、課題共有、システム改善についての情報共有に務めること。	
3	移行性	データ移行	18	現行システムのデータを全件移行できること。移行前後でデータの整合性が保たれること。	添付ファイル含む(画像ファイル(拡張子 gif, jpg, png など), Word, Excel, PowerPoint, PDF, CSV 等)
3	移行性	データ移行	19	移行対象データを期間内に移行すること。	テスト期間を含む
3	移行性	データ移行	20	並列稼働期間中に移行データに関する検証を完了させること。	データ移行・検証は1か月を想定
3	移行性	データ移行	21	本稼働後に移行データに不具合が見つかった場合は、新システムに対応できる形でデータを修正すること。	本稼働後、1年以内を想定
4	セキュリティ	利用制限	22	所属組織、役職、個別毎に利用機能が設定できること。	
4	セキュリティ	ログ管理	23	利用者のシステムアクセス・利用ログを取得できること。	
4	セキュリティ	ログ管理	24	一定期間、ログ情報を保存できること。	3か月分程度
4	セキュリティ	セキュリティ	25	ウイルス対策ソフトをインストールすること。	本市指定のもの
4	セキュリティ	セキュリティ	26	本市が定める情報セキュリティポリシーを遵守すること。	